

宝木地区 宝木団地自治会

「自治会活動を通じた高齢者への支援」

●加入世帯数：490世帯

●加入率：95.9%

活動内容

宝木団地自治会は、昭和47年約1000戸の公営団地建設により、居住者たちによって組織されました。

20年前までは、広場で盆踊りを行う等、正に世代を超えた交流が活発になされてきました。高齢化そしてマイホーム型の増加と建物の老朽化等から、入居者は現在は当時の半数の500余にまで減少してしまいました。

むしろ、このような高齢者世帯が多いからこそ自治会の重要性は増すものであり、私たちは次のような活動により、住民の交流と高齢者の福祉増進に努めています。

① 定例理事会の開催

毎月土曜日を各棟から選出される理事を集めて、自治連の報告や回覧の配布、情報交換を行っています。

② 清掃の日の設定

毎月第1日曜日を清掃の日と定め、各棟の周囲の清掃は勿論、接する道路の清掃を行い、住みよい環境づくりを図っています。

③ 公園の清掃

約900㎡の公園は、春から夏場にかけて草が生い茂ってしまいます。このため、6月、8月、10月を清掃の月に指定し、多くの会員を

動員して草取りを行っています。

④ 側溝の清掃

各棟の側溝は降雨による泥で埋まりがちで、そのため夏場は、蚊の発生が見られることから、毎年6月に各棟ごとに側溝の清掃を行っています。

⑤ 新川の清掃

大雨の時は新川が増水し、河川沿いに浸水することもあることから、毎年5月に川に入り、ごみ、草、泥土の取り除く作業を行っています。

⑦ 体育活動への参加

地域の健康増進と親睦を図るため、地区の体育行事には積極的に参加し、特に各種球技大会には数多く参加して、女子ソフトボール部は毎年入賞するほどの力があります。本年度は、ソフトボールは準優勝、野球は3位に入賞しています。

⑧ 手打ちそば、うどん講習会

毎年11月には、新そばができることから、会員のその道のベテランを講師にそば、うどんの手打ち講習会を開き、腕前の向上に努めるとともにそれを御馳走として、家族含めての交流をしています。

⑨ 高齢者の見守り活動

民生委員、福祉協力員、自治会が中心に高齢者の見守り活動を進め、

安心安全な住環境の確保に努めている。

加入率を維持する秘訣

居住者は、住宅の管理費等を納める義務が果たされており、これまでは100パーセントの加入であったが、高齢化と年金暮らしの方の負担増から未加入者が出てきたもので、会費は納入しなくてもいいが、回覧等を行うとして隣組の意識づくりに努めており、これが功を奏していると思われる。



公園・花壇の清掃
公園や住宅棟の空地を利用した花壇の造成と定期的な清掃を行い、住みよい環境づくりに努めている



月例理事会の一コマ

